M-style

〔エム・スタイル〕

みんなの みらいが みりょくあるものに
みんなによりそう みじかな みやけ



天童市議会議員 三宅和広 活動報告 No.14

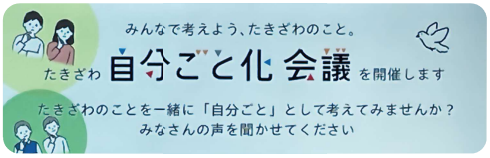
遠野市、紫波町、滝沢市を視察

私が所属する会派「てんどう創生の会」で行政視察に行きました。

◎岩手県遠野市　有害捕獲鳥獣の埋設管による処理
◎岩手県紫波町　PFI 方式による庁舎整備事業
◎岩手県滝沢市　たきざわ自分ごと化会議

遠野市では急増するシカ等への対応として捕獲したシカの個体処理を大型排水管を利用して処理しており、実際に設置された設備を見学しました。構造はたいへん簡単なものですが、処理能力は高いと感じました。９月定例会ではこの視察をもとに一般質問をさせていただきました。詳しくは裏面をご覧ください。

滝沢市の「たきざわ自分ごと化会議」は、無作為に抽出された市民が特定のテーマについて外部コーディネーターと意見交換を行い、そこで得られた結論を市長に提案するというものでした。行政の取り組みへの市民参画を促す成果があると感じました。ぜひ天童市でも実施したい事業です。



ＳＮＳもご覧ください

日ごろの活動を
facebook、X（旧Twitter）、instagram、Threads、YouTube
で発信しています。

YouTubeでは今回の９月定例会から一般質問の様子を１０分程度にまとめたダイジェスト版もアップしています。

ＳＮＳもぜひご覧ください。

https://miyake.exp.jp/SNS.html

〔裏面もご覧ください〕

〔裏面もご覧ください〕

今回の一般質問

天童市議会　令和８年9月定例会

大型排水管を利用した処理設備の導入

捕獲したイノシシなどの有害鳥獣の処理が鳥獣被害対策実施隊員の負担になっています。岩手県遠野市では大型排水管を利用した処理設備を導入しており、負担が大幅に軽減されています。また、大規模な減容施設の建設に比べ費用が安価です。本市でも導入してはどうでしょうか。



市長等の答弁

⇒ご提案いただいた大型排水管を利用した簡易減容設備は、導入費用、処理費用ともに安価であり、有力な方法である。
⇒一方で、悪臭などの影響が懸念されるため、様々な点を考慮しながら適切な方法を検討していく。

捕獲状況把握のためのＩＣＴの活用

鳥獣がわなにかかるとメールで通知されるようなシステムは、鳥獣被害対策実施隊員の負担軽減につながります。本市でも導入してはどうでしょうか。

市長等の答弁

⇒効率的な捕獲活動を実施するためにＩＣＴ機器の活用は有効な手段である。
⇒機種や機能が多種多様であるため、費用対効果等を評価し、また実際に運用する実施隊員の意向も考慮しながら、本市の実情に合う機器の導入を検討していく。

「捕獲応援隊」の活用

岩手県遠野市では農家に農作業時にわなに捕獲されていないかを見回ってもらう「捕獲応援隊」という仕組みを運用して、鳥獣被害対策実施隊員の負担軽減につなげていました。本市でも導入してはどうでしょうか。

市長等の答弁

⇒本市で捕獲の対象となるイノシシはニホンジカに比べて人的被害を及ぼす危険性が高く、見回り中の事故等につながる恐れがある。
⇒そのため、わなの見回りについては、鳥獣被害対策実施隊員が行うのが適切である。

一般質問の様子をご覧いただけます

M-style

みんなの　みらいが　みりょくあるものに
みんなによりそう　みじかな　みやけ

みやけかずひろ　検索

こちらもご覧ください。
https://miyake.exp.jp/SNS.html

発行:三宅かずひろ後援会　天童市乱川2-2-31　kmiyake@m3.dion.ne.jp　023-653-3573

2026.10.15